

第 61 回 日本 PTA 全国研究大会 みえ大会 参加報告書

富士市 PTA 連絡協議会
副会長 齋藤 和誉

- ◇開催日 8月23日・24日
- ◇開催地 三重県
- ◇テーマ みえに集えばきっと見える・・・三重からの「わ」
- ◇メイン 「輪」・・・家庭、学校、地域が連携して手を取り合う PTA 活動
「話」・・・子どもたちの夢について語り合う PTA 活動
「和」・・・未来ある子どもたちに和の大切さを伝える PTA 活動
- ◇参加者 全国小、中学校 PTA 会員及び関係者 約 8,000 名

・ 昨年の京都に引き続き、みえ大会に参加させていただきました。

《研究課題》

自分たちにできること「国際理解」

～「多文化共生」と「国際貢献」について考えよう～

・ 1日目は、四日市市文化会館第2ホールで行われた、『第7分科会 国際理解』に出席し、四日市大学経済学部、富田学部長による基調講演、国際理解教育をドラマ「ガリオ」に見立てた、楽しい講演を聴かせていただきました。

実践発表では、四日市市立西陵中学校 PTA の「今、自分にできることを」をテーマに、地雷被害にあった1枚の女の子の写真から始まった「エコップ運動」の苦労されたお話や、四日市市立笹川東小学校では、「多文化共生の取り組みについて」をテーマに外国人との共生について、学校や PTA、地域での取り組みが行われているという、他では聞くことのないお話を聴かせていただきました。

印象に残ったお話は、外国人の多い笹川団地を校区に持つ笹川東小学校では、児童の17%が外国籍。先生が「明日水筒を持って来るように」伝えると、普通私たちは水かお茶などを入れて持って行きますが、外国籍の子どもたちは、空の水筒だけを持って来たり、遠足に「シートを持って来るように」伝えた時には、自分が座るだけの大きさのシートではなく、工事用の大きなブルーシートを持って来たそうです。

日本との文化の違いを感じました。

・ 2日目は、三重県営サウナで行われた『全体会』に出席し、来年度開催地の長崎県 PTA による PR、記念講演では、ヴァイオリニストの川井郁子さんによるご自身の子どもの頃のお話や、すばらしい演奏を聴かせていただきました。

この体験を、今後の PTA 活動に繋げていきたいと思えます。